

2022年1月15日(土)～3月21日(月・祝)

仙台文学館 企画展示室

同時開催 怪談作家・杉村顕道 その生涯と交友

休館日／月曜日(3月21日は開館)、祝・休日の翌日(2月12日は開館)、第4木曜日

開館時間／9:00～17:00(入室は16:30まで)

観覧料／一般 580円 高校生 230円 小・中学生 110円

主催：仙台文学館
協力：高山家 鶴岡市教育委員会 こおりやま文学の森資料館 東北医科薬科大学
東北大学史料館 宮城県図書館 風の時編集部 仙台市歴史民俗資料館

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容に変更が生じる場合があります。詳細は当館ホームページ、SNS等でお知らせします。

写真＝佐々木隆二

「瞑想の松」物語

企画展
高山樗牛と土井晩翠

企画展 高山樗牛と土井晩翠 「瞑想の松」物語

みなさんは「瞑想の松」をご存じでしょうか。「瞑想の松」は、仙台市の小松島にある東北医科薬科大学構内の、樹齢620年以上のクロマツの古木です。この松は「天神山の一本松」と伝えられていましたが、いつしか「樗牛 瞑想の松(※)」と呼ばれるようになりました。なぜこのように称されるようになったのか。そこには二人の文学者、高山樗牛と土井晩翠が関係していました。本展では二人の交流を辿り、その不思議をひも解きます。

※「冥想」の字も使用されます。



高山 樗牛
たかやま ちよぎゅう

1871(明治4)年～1902(明治35)年

現在の山形県鶴岡市生まれ。文芸評論家。本名齋藤林次郎。旧制二高を経て東京帝国大学に進学。大学在学中、匿名で応募した懸賞小説「滝口入道」が話題となる。『帝国文学』『太陽』を舞台に文芸評論家として活躍。一時期、旧制二高で教鞭を執った。



土井 晩翠
どい ばんすい

1871(明治4)年～1952(昭和27)年

現在の宮城県仙台市生まれ。詩人・英文学者。本名林吉。旧制二高を経て東京帝国大学に進学。1899(明治32)年に発表した第一詩集「天地有情」が評判となる。「荒城の月」の作詞者としても知られる。長く旧制二高で教鞭を執り、数多くの校歌を手がけた。

関連イベント

※会場はすべて仙台文学館講習室

1 朗読と音楽の調べ

「土井晩翠作品を味わう」

日時：2月11日(金・祝) 13:30～14:30
出演：茅根利安(朗読)・橋 寿好(琴)
定員：30名

2 リーディング

「孤高の天才 高山樗牛」

日時：2月20日(日) 13:30～14:00
出演：原西忠佑
定員：30名

申込方法

往復はがきでの申込み。イベント名・氏名・住所・電話番号を明記して仙台文学館へ。はがき1枚につき、1イベント1名の申込み。それぞれ1名1枚まで。
締切①は1月25日(火)、②は2月1日(火)必着。
どちらも参加の際に企画展観覧券、または半券が必要です。

※いただいた個人情報は上記イベントのご連絡以外に使用しません。

同時開催 怪談作家・杉村顕道 その生涯と交友

杉村顕道(すぎむら けんどう) 1904(明治37)年～1999(平成11)年 東京生まれ

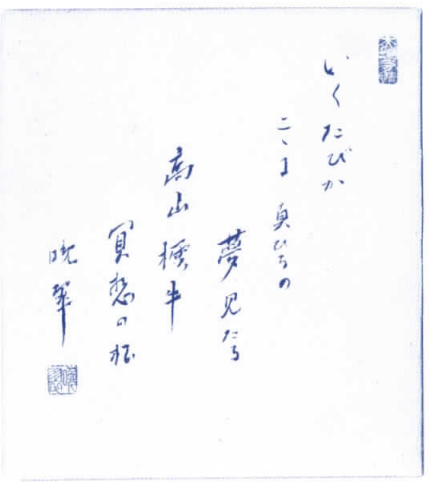
杉村は、明治学院と國學院大學で学んだあと、長野や樺太で教鞭を執り、『信州の口碑』と伝説『信州百物語』『樺太風土記』を出版。1938(昭和13)年から仙台市に居を構えます。梅郷中学(現・東北福祉大学)などに勤務しながら執筆を続け、『彩雨亭鬼談 箱根から来た男』などの怪談や、数多くの句集、地域史や漢学に関する著書を世に出しています。1964(昭和39)年には宮城県芸術協会創立に尽力しました。今回の展示では、遺族から寄贈された顕道の著作や、その幅広い交友を示す文学者や文人の書画、書簡などをご紹介します。宮城の地に根を下ろし活動が続けた、杉村顕道という人物をぜひ知ってください。

Sendai Literature Museum (公財)仙台市市民文化事業団
仙台文学館
https://www.sendai-lit.jp/

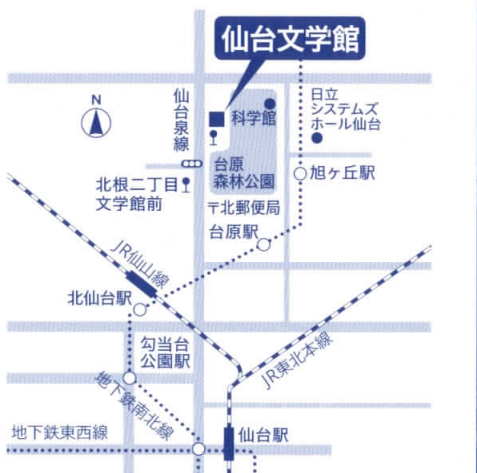
ご来館のみなさまへのお願い
・体調がすぐれない場合はご来館をお控えください。
・館内ではマスクの着用をお願いします。
・ご入館の際、サーマルカメラでの検温、手洗い、手指の消毒にご協力ください。
・会場の三密(密閉・密集・密接)を避けるため、入場制限をさせていただく場合があります。



「瞑想の松」にて 大正期(東北大学史料館提供)



土井晩翠色紙



バス
〈宮城交通バス〉仙台駅西口バスプール2～4番乗り場
仙台北・泉地区方面行(急行・北山トンネル経由を除く)
〈市営バス〉仙台駅西口バスプール4番乗り場 八乙女駅行
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車
地下鉄
地下鉄南北線「台原駅」下車、南1番出口より徒歩約25分
(台原森林公園内あかまつの道経由)
※山道です。特に雨天時は道が滑りやすくなり危険ですので、バスをご利用ください。
駐車場
駐車場40台(無料)。
台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

今後の展覧会

特別展「椎名誠 旅する文学館 in 仙台2022」
2022年4月23日(土)～6月26日(日)

※このチラシは「雑み」としてリサイクルできます。